

まとめ（続き）

- 50歳以上のHIV感染者数は増加し続けており、世界の症例数は500万人超である。
- 高齢患者に対するHIV治療では、ARTに伴う有害作用（腎臓、肝臓、心血管、代謝、骨の健康関連）とともに、薬物・薬物相互作用の増加の可能性を考慮しなければならない。
- HIV感染者には薬物使用者が多く、薬物使用障害の早期かつ積極的な診断と治療が必要である。
- 適切な治療を行い、薬物使用量を減らせば、受診率の向上とARTへのアドヒアランス改善の両方を期待できる。